

「学ぶ力」	
実態	課題
<p>成果</p> <p>◇全国学習学力状況調査の結果から、「人の役に立つ人間になりたい」と肯定的に考えて、行動している割合が高く、人の役に立てたときに達成感や有用感を得ている傾向がある。</p> <p>◇課題探究学習において、調べたり、情報を整理したり、自らの考えをまとめ、表現しようとする力が、ICTの活用もあり、身に付いてきている。</p> <p>◇AAR サイクルと4つのセルフチェックの観点から授業改善に努め、生徒が主体的に学ぶ授業の在り方について研修を深めた結果、学習環境の改善につながった。</p>	<p>課題</p> <p>◇学習に関するアンケートの結果から、「計画的な学習」「1日の時間の使い方」など家庭学習習慣の定着に対する肯定的な回答が少なく、見通しをもって自分の生活をつくる力を身に付ける必要がある。</p> <p>◇全国学力学習調査の結果から、「将来の目標」「地域・社会への貢献」など、生徒が将来への夢や希望をもつことに対する肯定的な反応が少なく、主体的に自身の将来を築いていくための「キャリア教育」を充実させることが課題である。</p> <p>◇ICTの活用は進んでいるが、インターネットの情報を適切に引用し、表現する力に関して課題があり、ICTを正しく活用するための知識を身に付ける必要がある。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇生徒会活動や総合的な学習の時間を通して異学年交流を推進しており、先輩から後輩へと経験や学びを受け継いでいく機会を増やしている。また、各教科の学習でもグループ形式で取り組む場面を設定し、協働学習を進めてきた。一方、「困難な課題に対し、失敗を恐れずに挑戦すること」や「自ら考えを発信すること」には課題があり、受け身の学習姿勢になっている様子が見られる。個別・協働の学習形態が効果的な影響をもたらすよう、生徒の「ファシリテート力」や「コーディネート力」の育成が必要だと考えられる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

課題探究に主体的に取り組み、学びをもとに積極的に発信し、自らを高める力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 自ら疑問や問題を見出し、課題を設定できる「学習活動」「学習環境」「人間関係」づくり→個別・協働の学習形態を通し、「発信」力を育成する</p> <p>(2) 生徒主体の学びを目指した授業改善 →年間指導計画及びカリキュラムマネジメントの見直し、ワークシートの工夫、効果的なICT機器の活用、単元の振り返り、評価計画と評価方法の改善</p>	<p>①学級活動の充実 →振り返り→課題発見→解決方法決定→実践の反復</p> <p>②生徒会活動の充実 →生徒主体の諸活動企画・運営 →ICTを活用した全校生徒の声を聴き取る振り返り</p> <p>③コミュニティ・スクール実施に向けて →地域・パートナー校との連携強化</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇①、②において、Google form等で意見を集約し、クラスルーム等で可視化するなど、生徒一人ひとりの考えや意見などを交流したり、次の活動に向けての修正に生かせるようにする。</p> <p>◇③においては、Google meetなど、オンラインでパートナー校で「あいさつ運動」や「合唱の取組」など生徒主体の活動を交流し、さらに意見交流をするなど、児童・生徒同士の声をつなげる取り組みをする。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

